

大磯中学校区 令和8年度グランドデザイン

□校区の子どもの実態□ (小学校)

- ・前向きな児童が多い
- ・仲間と協力し合えることができる
- (中学校)
- ・何事にも一生懸命取り組む
- ・進んで挨拶できる生徒が少ない

□保護者・地域の思い□

- ・自主性を育む
- ・地域貢献できる子ども
- ・いじめ等問題行動の未然防止

校区で目指す子どもの姿

- ・自分の目標や夢に向かって意欲的に挑戦できる子。
- ・自分の個性を認め、他者を大切にできる子。
- ・ふるさとを愛し、誇りをもつとともに、地域の人間として行動できる子。

【大磯町教育大綱】

- (基本理念)
「子育て・教育でみんながわくわくするまち おおいそ」
- (基本目標)
「まなび・からだ・こころ」

【かながわ教育ビジョン】

- (基本理念) 未来を拓く・創る・生きる 人間力あふれるかながわの人づくり

教育基本法を始めとする関連法規等

連携

学校支援体制の構築と効果的具体的な連携・協働

- <学習環境> 認め合い、安心して過ごせる場の整備
- ・自己有用感が醸成される人との関わりを大切に環境
- <授業> 誰一人取り残さずに、学び合い高まり合う学習
- ・ICTの活用とモラル教育による、深い学びの推進
- <情報発信> 各種たより、メール配信システム、ホームページ等の有効活用

小中連携

- ・共同学校研究
- ・町相互訪問事業に係る授業見学
- ・学校運営協議会(CS)
- ・左義長体験

保護者・地域との連携

- ・防災(訓練参加等)
- ・学校運営協議会(CS)
- ・左義長
- ・地域学校協働活動

交流

幼中交流

- ・職場体験
- ・ボランティア
- ・学校散歩

幼小交流

- ・給食体験
- ・学校散歩
- ・行事への参加
- ・秋祭り
- ・新入生を迎える会

小中交流

- ・交換給食
- ・部活動見学
- ・訪問授業
- ・特別支援学級の児童・生徒同士の交流

大磯小学校 学校教育目標

おだやかに 自ら学び 共に育つ

- ・自らにも他人にも、心穏やかで、やさしい子ども
- ・基礎・基本を身につけ、自ら進んで学習できる子ども
- ・共に助け合える子ども
- ・運動に親しみ、健康で健全な生活ができる子ども
- ・自らをみつめ、自らの成長を信じて、行動する子ども

「大磯学」の実践

地元大磯についての系統学・連続的な学習

地域の材を活用し、各教科等を通して郷土への愛着を深め、主体的な行動する態度を育成する。

思考・判断・表現を活用するなかで、主体的な学びにつなげる態度の育成

将来の進路指導を見据えたキャリア教育の推進

小学校の学びを基盤にした基礎・基本のさらなる充実

・中1ギャップへの対応
・生徒の発達段階に応じた指導・支援

・協働的に課題を解決する力のさらなる育成

・小学校での学習内容の確実な理解と定着
・興味関心や自己評価に基づく学習課題などの自己決定

・学習内容や学び方の基礎基本のさらなる定着や徹底
・協働的な学びを意図的に実践

・集団で関わり合う活動の充実
・他者と触れ合う中での成長

・望ましい生活リズムや学習習慣の定着
・基礎基本の反復・定着

幼稚園・保育園等との円滑な接続と相互交流(小1プログラムへの対応)

中3

中2

中1

小・中学校9年間を見通した教育活動・一貫した支援

小6

小5

小4

小3

小2

小1

幼児

大磯中学校 学校教育目標

「自立」

自ら学び、考え、判断し、自らの言葉で表現しながら行動する人

「健康」

心身の健康を大切にし、多様な価値観を認め合える心温かな人

～自ら考え、健やかに地域と歩む、笑顔あふれる磯中生～

笑顔があふれ、安心して生活できる学校で、地域や保護者の信頼と連携のもとに学校の教育活動を展開し、学校が好きで夢や目標に向かって自ら取り組むことができる生徒を育てる。

学校教育目標を達成するために、次の項目について教職員が向上心を持って学びあいながら、生徒の状況を的確に把握し、個のニーズに応じたより良い支援を展開することで、信頼される学校を目指す。

- (1)豊かな人間性の育成 (2)健康体力の維持増進
- (3)資質・能力の育成 (4)コミュニティ・スクールの推進

接続

9年間を見通したカリキュラム

- ・指導方針や各発達段階で育てたい力等を共有し、9年間の系統性・連続性のある取組により、確かな学力の定着、向上をめざす。

学習指導の充実

- ・小学校高学年での教科担当制や小中学校間での相互乗り入れ授業等、専門性を活かした魅力ある授業の創造、協働学習や少人数学習など効果的な学習形態の活用を図る。

9年間一貫した支援

- ・9年間を通して子供を見守り育てる支援体制により、問題行動の未然防止と早期対応を図る。また、支援を必要とする子どもについて、全教職員の共通理解を図り、チームで支援する。

インクルーシブ教育の推進

- ・神奈川県が提唱する、「すべての」子どもたちが同じ場で、共に学べる環境を目指して、小・中学校間で取組を共有し、具体的な支援へつなげる。

大磯学を柱とした系統的な学習

- ・大磯町の地域教材を活用し、各教科等の学習を通して学びを深める。
- ・「左義長」を軸に小・中学校間で系統的な学びを構築するとともに、実際の体験も踏まえ、将来に渡って地元に貢献できる人材の育成を図る。

校区の幼児教育との接続(幼保小の架け橋プログラム)

大磯幼稚園、こいそ幼稚園、サンキッズ大磯、幼保連携型認定こども園あおばと、もあなこびとのこや、楽友庵